特記仕様書の記載例（「受注者希望型」ＩＣＴ活用工事）

特記仕様書の記載例

第○○条　ＩＣＴ活用工事について

１　本工事は、「大分県森林整備保全事業ＩＣＴ活用工事試行要領」に基づき、受注者の提案・協議により、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について３次元データを用いた情報化施工技術を活用する「情報化施工技術活用工事（ＩＣＴ活用工事）」（受注者希望型）である。

※「大分県森林整備保全事業ＩＣＴ活用工事試行要領」については、大分県ホームページ内（https://www.pref.oita.jp/soshiki/15040/ictkatuyoukoujisikouyouryou.html）にて掲載してある。

２　ＩＣＴ活用工事とは、次に示す①～⑤の施工プロセスにおいてＩＣＴ施工技術を活用する工事である。

1. ３次元起工測量
2. ３次元設計データ作成
3. ＩＣＴ建設機械による施工
4. ３次元出来形管理等の施工管理
5. ３次元データの納品

３　受注者は、ＩＣＴ活用工事を実施する希望がある場合は、施工計画書提出までにＩＣＴ活用工事計画書（別記様式－１）を監督員へ提出した上で協議を行い、協議が整った場合にＩＣＴ活用工事を行うことができる。なお、上記２の①～⑤のＩＣＴ施工技術の部分活用を認める。ただし、②、④、⑤は必須とする。

４　受注者は、実施内容等について施工計画書に記載するものとする。

５　ＩＣＴ活用工事の施工を実施するために使用するＩＣＴ機器類は、受注者が調達すること。また、施工に必要なＩＣＴ活用工事用データは受注者が作成するものとする。使用するアプリケーションソフト、ファイル形式については、事前に監督員と協議するものとする。

６　ＩＣＴ活用工事の実施にあたっては、本特記仕様書に疑義が生じた場合又は記載のない事項については、監督員と協議するものとする。

７　３次元データで納品するデータについては、受発注者間協議にて決定すること。